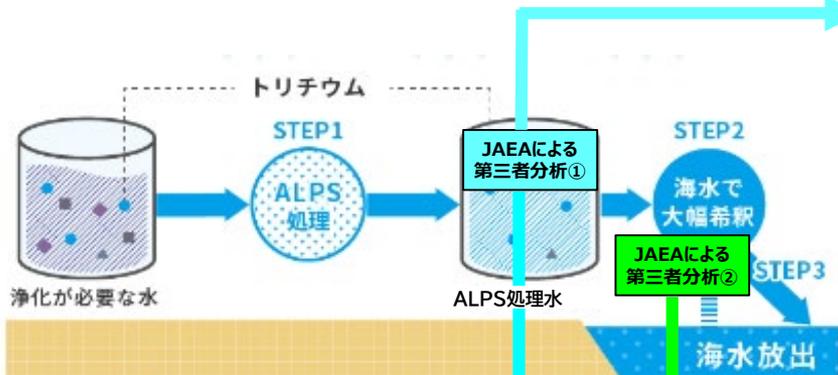


# JAEAによるALPS処理水の第三者分析結果について(令和5年6月26日サンプル分)

## ALPS処理のプロセス (出典:経済産業省広報資料より)



ALPS処理によりトリチウム以外の核種が規制基準以下に浄化されていることを確認(STEP1)

【29核種※1の分析結果】  
告示濃度比総和 0.21<1

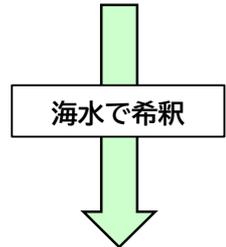
【39核種※2の分析結果】  
有意に存在しないことを確認

(参考)東京電力HDの結果は同じ  
※1:実施計画で放出基準(規制基準)未滿の確認が定められている核種  
※2:風評抑制の観点から、東京電力HDが自主的に確認する核種  
(令和5年9月20日に国へ報告)

ALPS処理水中のトリチウム濃度が、放出基準(1,500Bq/L)を下回るまで、海水により希釈されたことの確認(STEP2)

海水希釈前のトリチウム濃度  
分析結果・・・14万Bq/L

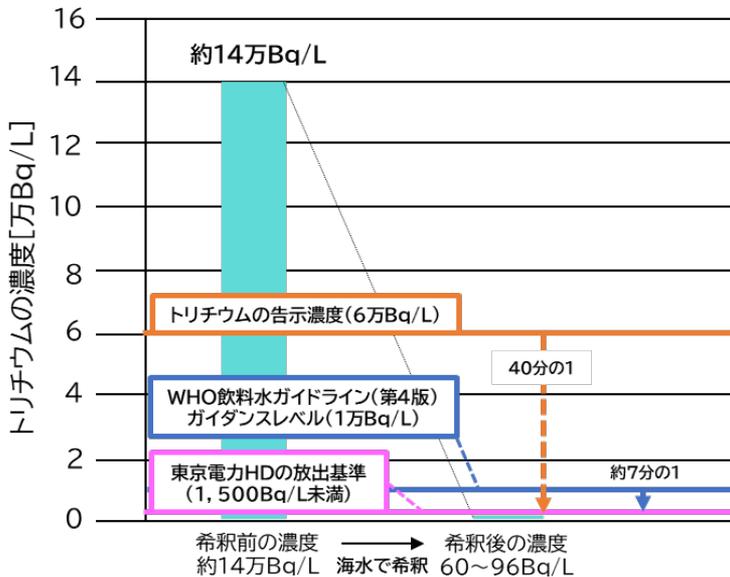
(参考)東京電力の結果→14万Bq/L  
(令和5年9月20日に国へ報告)



海水希釈後のトリチウム濃度  
分析結果・・・60~96Bq/L  
・放出基準(1,500Bq/L)を下回る値。

(参考)東京電力の結果→63~87Bq/L  
(令和5年10月4日に国へ報告)

## 海水希釈による濃度低減



## 希釈後濃度の比較

